

防衛医科大学校病院における小児虐待の研究

今回、防衛医科大学校病院子どもの安全委員会では、小児の虐待についての検討を行いたいと考えています。近年日本では小児の虐待件数が著しく増えていますが、防衛医科大学校病院でも虐待の報告件数が増加傾向にあります。

ただ、防衛医科大学校病院での虐待の内容については、日本の他の地域で見られている虐待とはやや異なる傾向があります。これを研究することにより、所沢周辺での虐待の特殊性を明らかにできれば、今後起こるかもしれない虐待について、予防したり迅速な対応を取れたりできる様になるかもしれません。

研究の内容は、防衛医科大学校病院で診療を受けた虐待の症例について、虐待の種類や虐待をした人とされたお子さんの性別・年齢、虐待のあった時期・場所、虐待の結果などについて集計し、防衛医科大学校病院での子どもの虐待について、特徴を明らかにしようというものです。詳細は下記に示します。

この研究について、対象となる可能性にお心当たりのある方の中で、この研究の対象になることに差し障りがある場合は、対象症例から外させていただきますので、別記「お問い合わせ先」あてご連絡ください。

1. 研究の対象

2017年2月～2021年3月まで防衛医科大学校病院で (i) 医学的に合理的な説明ができない外傷症例 (ii) 医学的に合理的な説明ができない成長・発達の遅延がある症例 (iii) 出生後に児に対する健全な養育ができない可能性を医療機関・行政機関から指摘された症例

2. 研究目的・方法

防衛医科大学校病院「子どもの安全委員会」に登録された事例の特徴（虐待の種類・虐待者/被虐待者の属性・転帰）を、電子カルテ・事例検討会記録などから収集し、傾向を分析します。この作業を下記の研究期間の間 1年毎に集計し、必要に応じて研究期間を延長します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

虐待者・被虐待者の年齢・性別・生年月日・カルテ番号・想定される小児虐待の種類と程度・健診

受診の為に来院した期間と指示された受診日に受診しなかった日等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2 防衛医科大学校小児科

川口 裕之（研究責任者）

TEL: 04-2995-1511, FAX : 04-2996-5204